

運送業界の健康支援を生きがいに



174 SOS信号を見落としていませんか？

唐突ですが、ドライバーの「SOS信号」って何のことだと思われませんか。筆者は、脳・心臓疾患や睡眠時無呼吸症候群(SAS)など、健康起因事故につながりかねない肥満、高血圧、脂質異常、高血糖の4項目すべて、もしくは複数に所見のある人が、治療もしないで運転業務に従事していることだと考えます。

さて、ここで話を少し外し、言葉の使い方に触れたいと思います。「SOS」と類似して、関係者がよく使うのが、「ハイリスク」です。実は「広報とらつく」(全ト協)の広報紙11月15日付)にて、運輸ヘルスケアナビシステムの募集案内に、「ドライバーのSOS信号を見落としませんか？」と、初めて見出しに使用してみたところ、着々と問い合わせをいただきました。本事業は2017年度より「ハイリスク者の見える化」をキャッチコピーに事業展開してきましたが、これではあまり響かなかったのではないかと、この場に及んで感じています。本当に難しいものですね。

◆SOS信号がマークと色で見える

ナビシステムでは、定期健康診断結果からドライバーのSOSがマークや色で表示され、一目でわかるようになっています。この結果に基づき、対象者に受診指導を行っているのだが、安全配慮義務を

伴う事業主の責務です。もちろん、煩雑な健診結果のはOCHISが責任をもって行いますので、会社で入力していただく必要はありません。さらに保健師等の専門職が、企業内健康管理の進め方や生活習慣のアドバイスまで一連でサポートします。このような全ト協の「イチオシ事業」、もう、利用しない手はありませんよね。

◆わかりやすい言葉で言葉の使い方

に配慮すること、いろいろなメリットが現れます。社内での良好なコミュニケーションづくりは無

論、意外な効果として期待できるのが、高齢者への対応です。聴力や認知、理解力の低下は外見では見えませんが、決して以前と同じではありません。その上で、わかりやすい言葉に置き換えて指示や説明を行うことで、思い込みや誤解が解消し、ミスや事故防止につながるのではないかと

思います。この度の筆者の運きに失した気づきがお役に立てれば幸いです。

《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)代表
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

(今回は1月13日号に掲載)